

令和3年度第2回広島県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

- 1 開催期間 令和4年2月10日(木)から令和4年3月25日(金)まで
- 2 開催方式 持ち回り
- 3 主な議題
 - ・令和3年度第3四半期業務進捗状況について
 - ・令和4年度業務計画について
- 4 議事経過
主な意見は以下のとおり。

(職業訓練全般について)

- ・引き続き、様々な媒体を活用し、生の好事例を取り上げてのパブリシティに注力されている取り組みは、評価できる。
- ・コロナ禍においても、新たな取り組みなどの工夫により十分実績を上げており、高く評価するとともに感謝している。
- ・DX対応については、小規模、中小企業者にとって、取り組みたいがその導入方法などについて、対応が難しい状況である。ぜひ、来年度の新メニューが効果的な事業となるよう期待している。
- ・広報面で様々な工夫をされており、本当に困っている人が職業訓練にアクセスできる道筋を引き続き複数確保してほしい。短時間コース、パンフレットなどでの事例紹介(女性の転職、再就職など)は評価できる。

(離職者訓練について)

- ・新聞を読まない方やテレビを見ない方に対して、コンビニに離職者訓練のチラシ等を置いて広報を行ってはどうか。
- ・いわゆる就職困難者の就職促進について、引き続き、関係機関と緊密な連携を図りながら、実効性が上がるよう取り組んでいただきたい。
- ・訓練定員に対する充足率が数値目標に対して僅かに低いものの、オンライン訓練(学科)の実施など新たな取り組みを始められており、引き続き離職者の職業訓練を推進していただきたい。
- ・自動車関連としては、充足率の低い金属加工について、より向上させようとしている取り組みには感謝している。現場へ戻りたくない方々も多い中

で、更に魅力ある職業として訓練を通じて訴えかけることで、今後の人の流れも変わると思うのでよろしく願います。

(高度技能者養成訓練について)

- ・カレッジに対する地元経済界の期待・評価は長年に渡って高いものがある。ウイズコロナの中での学校運営には、様々な点で苦慮されていると思料するが、引き続き、一人一人の学生に寄り添いながら、実践技術者の育成に尽力していただきたい。
- ・地域の中小企業への人材供給として非常に大切である。出来れば定員を増やしていただきたい。

(在職者訓練について)

- ・コロナ禍の中で受講者数は減少傾向にあるものと想定されるが、受講者及び事業主の満足度が高い水準を維持していることは、評価できる。
- ・コロナ禍ではあるが、引き続き安心して受講できる環境を整えて、多くのコースを実施していただきたい。

(生産性向上支援訓練について)

- ・在職者訓練と同様、受講者及び事業主の満足度が高い水準を維持していることは、評価できる。今後とも、より多くの企業において活用されるよう訓練の周知・啓発に取り組んでいただきたい。
- ・少子高齢化により労働者の確保が困難な中小企業にとって、DX化が対応策の一つであると思う。しかし、社内で推進する人材がないことが課題である。こうした中、DX対応46コースを選定し、特に社内でDXを推進する人材を養成する「DXの導入コース」の設置は時宜を得ており、組合及び会員企業に周知させていただく。

(求職者支援訓練について)

- ・ものづくり分野以外の職業訓練を希望する求職者に対して、より多くの実践コースを認定できるよう、訓練機関の開拓を進めていただきたい。

令和3年度第2回広島県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (3名)	岡田 行正 (会長)	広島修道大学 商学部教授
	中迫 正一	独立行政法人国立高等専門学校機構 呉工業 高等専門学校機械工学分野教授
	森田 裕美	中国新聞社論説委員
労働者代表 (1名)	藤井 則正	日本労働組合総連合会広島県連合会事務局長
中小企業等代表 (6名)	伊木 剛二	広島県商工会議所連合会事務局長
	長谷川 信男	広島県商工会連合会専務理事
	鳥越 直樹	広島県中小企業団体中央会専務理事
	小川 智弘	福山商工会議所専務理事
	桑原 立人	東友会協同組合専務理事
	前田 清志	広島県電気工事工業組合専務理事
行政機関 (4名)	境 孝士	広島労働局職業安定部長
	大庭 直美	広島労働局雇用・環境均等室長
	玉岡 政義	広島県商工労働局職業能力開発課長
	山根 かおり	広島市経済観光局雇用推進課長